



## 天神の男衆 (東由岐天神祭)

(撮影：川西明雄氏)

# 美波町 議公報

定例会の概要・議案審議	2
議員の賛否	3
意見書・議長の活動・議員の出欠	4
一般質問	5
姉妹都市締結協定書調印	12
農業委員紹介・募集	13
頑張る人!!・編集後記	14

第33号

平成26年6月定例会



平成26年8月8日 発行：徳島県美波町議会 編集：議会広報特別委員会

徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1 TEL (0884) 77-3630 FAX (0884) 77-1666

# 人事議案で副町長に山路和秀氏、 教育委員会委員に寺内康博氏・尾崎真二氏、 人権擁護委員に濱高マユミ氏に同意

## 6月定例会の概要

平成26年第2回定例会は、平成26年6月9日から平成26年6月13日まで5日間開催した。

影治町長より3月議会以降の町政の進捗状況及び今定例会に提案されている、報告6件、条例議案1件、補正予算議案3件、人事議案3件について提案理由の説明があった。

### 議案審議

◆議案第38号 美波町税条例の一部を改正する条例

質問

近隣町村の税額及び小型特殊自動車の台数は

答弁

海陽町・那賀町・小松島市が未定。牟岐町・阿南市・徳島市が農耕作業用2,400円、その他5,900円。勝浦町・上勝町が農耕作業用2,000円、その他5,900円となっている。軽自動車全体で3,723台のうち小型特殊自動車(農耕作業用)24台(その他)14台である。

◆議案第39号 美波町一般会計補正予算

●総務費

質問

ホームページ構築委託料、地域おこし協力隊コーディネート委託料の内容は

答弁

ホームページ構築委託料は、移住交流やサテライトオフィス等の誘致を展開するため、画面的に興味を持つてもらえる魅力あるホームページを構築する。地域おこし協力隊コーディネート委託料は、協力隊の獲得が難しいので、募集にかけてのコーディネート等を委託する。

質問

公設民営の施設で、自治体が設置・維持していく中で修繕化を含めた工事が継続しているが、将来的に考え売却等の検討はどのような方向で考えるのか

答弁

指定管理期間がすぎる前に、再募集の結果によりどのようにしていくかを、その時に議会に相談して判断する。

質問

医療保険センター実施設計委託で、液状化対策の調査はしたのか

答弁

現在基本設計中で、すでにボーリング調査は終わりに液状化対策についても行っており、それに対応する基礎検討も行う予定である。

●農林水産業費

質問

農林通年就業モデル事業の内容は

答弁

県の事業で、森林組合の職員に各種林業機械整備の研修をさせ、自前で整備することで経営改善を図るため研修や資格を取る費用の半額補助するもの。

●消防費

質問

津波避難看板と防災灯の設置数と場所は

答弁

避難看板は、地図上に避難場所を書いてあるようなものを、既存で20カ所程度あるのであと30カ所程度設置。防災灯は、蓄電タイプのもので避難場所に通ずる

誘導灯に考えているが、避難場所全体（130カ所から150カ所）の調査中なので、数は把握できていない。

**質問**

移転する備蓄倉庫1棟、新しい備蓄倉庫7棟及び防災毛布200枚の設置場所は。また関連して、町が備蓄している食糧等については、どの段階での配布を目標に備蓄しているのか

**答弁**

移転の備蓄倉庫は、木岐西町から西の地ポケットパーク（高規格道路へ向かう県道の三叉路付近）へ移転し、西由岐防災会へ貸す。新しい備蓄倉庫は、木岐・西の地・東由岐・寺込・山河内・コミュニティホール屋上・支所屋上の7棟、毛布は、



西の地ポケットパーク

町管理の備蓄倉庫に置く。町の備蓄品は、災害時3日間は自主防や個人の方で頑張ってもらい、以後4日間を町で備蓄をするかたちで進めている。

**質問**

仮設トイレの設置場所は

**答弁**

まだ検討段階で、西の地ポケットパーク・木岐のカタ地区・奥潟の3カ所の地権者に相談をかけている。

**質問**

地域づくり推進計画策定委託及び事前復興計画策定委託の委託内容と委託先は

**答弁**

地域づくり推進計画策定委託は、「美波町安全安心まちづくり構想検討業務」を委託し、業務内容は、今年の3月、美波町が南海トラフ地震防災推進及び特別強化地域に指定されたのを受け、津波対策推進計画を作成する。具体策は、日和佐地区で防潮堤の整備、高台移転、土地のかさ上げ等の手法を検討し、特に高台構想の候補地（道の駅西側の山林）の施設の明確化、配置面積等の整理及び概略検討を行う予定。  
事前復興計画策定委託は、発災後、2次避難・仮設住宅期・住宅再建期の対策を各地区で明確にするため、アンケートをとり地域懇談会等で協議することをコンサルタント会社に委託する予定。

◆各議員の賛否（議案採決結果）◆

議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠

報告・議案・発議	議員名											結果	
	舛田 邦人	◎岩瀬 公	江本 昇	北山 朝彦	川尻 竹藏	松本 晋児	永本善次郎	寺下 博子	戎野 博	向山 篤宏	丸龍 孝敏		中川 尚毅
第3号 一般会計（地籍調査）繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第4号 簡易水道事業繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第5号 公共下水道事業繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第6号 一般会計（木岐聖ヶ丘体験施設）繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第7号 一般会計（病院建設）繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第8号 病院事業会計繰越計算書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第38号 税条例（軽自動車税）一部改正条例の制定	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第39号 一般会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第40号 国民健康保険会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号 病院事業会計補正予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第42号 副町長の選任	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第43号 教育委員会委員の任命	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第44号 人権擁護委員の推薦	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第2号 農林漁業の燃油税制に関する意見書	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

# 農林漁業の燃油税制に関する 意見書を採択!



●意見書の趣旨  
農林漁業で使う軽油、A重油にかかる軽油取引税の免税措置及び石油石炭税の免税・還付措置について恒久化すること。

●意見書案提出者  
北山 朝彦

●賛成者  
戎野 博・中川 尚毅  
川尻 竹藏・永本善次郎  
舛田 邦人・松本 晋児  
寺下 博子・向山 篤宏

●意見書提出先  
衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣  
農林水産大臣・総務大臣  
財務大臣・徳島県選出国會議員

●採決結果  
賛成11・反対0 採択

## 議長の主な活動状況 (平成26年3月定例会後から平成26年6月定例会まで)

### ◆5月27日・28日

第29回町村議会議長・副議長研修会及び国土交通省・内閣府・県選出国會議員への要望活動  
(地震津波防災対策支援の充実強化、道路ネットワークの整備促進)

## ◆各議員の出欠状況 (平成26年3月定例会～平成26年6月定例会)◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…-

議員名		舛田	岩瀬	江本	北山	川尻	松本	永本善次郎	寺下	戎野	向山	丸龍	中川
		邦人	公	昇	朝彦	竹藏	晋児	郎	博子	博	篤宏	孝敏	尚毅
日付・会議等													
5月7日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○
5月14日	議会議員懇談会	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	○
5月16日	町村議会議員研修会	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×
5月20日	平成26年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	△	-	○
5月26日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	△	-	○
5月30日	議会広報特別委員会	-	-	-	○	-	-	○	-	○	△	-	○
6月3日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	-	○	○	○	○	△
	文教厚生委員会	△	○	○	○	△	△	△	○	○	△	△	×
	総務産業建設委員会	○	△	△	△	○	○	○	△	△	○	○	-
6月6日	テレビ中継特別委員会	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

# 一般質問

一般質問では、町政及び議会テレビ中継など、9件の課題について7人の議員が執行部の考えを質しました。

## ① サテライトオフィス誘致活動を強力に押し進めるべき！

答 弁  
積極的に行ってまいりたい



議員 舩田 邦人

質問  
IT企業と地元民との交流も盛んになっている。しかし、他町から美波町よりも好条件での勧誘が日増しに強くなっている。3年目に向かって、独自の力で次の誘致に向け、活動を強力に押し進めていくべきと思

う。2年を経過して、いろんな問題点・課題がある。空き家情報不足・社員の食事の不便等やネット環境のさらなる高速化等、町の重要施策であるサテライトオフィスの誘致と、問題点に関してどのように取り組んでいくのか。

### ● 影治町長

今後の誘致施策については、現在進出している企業と意識の共有をはかり外部から見た当町の良さについて再発見に努めたい。

今後ソーシャルネットワークワークサービスをはじめとするメディア媒体へ、当町がストックする魅力的な「食・地域・人」の財産を更に情報提供し、サテライトオフィスの進出を考えている企業に対しアピールを行っていく。

本年5月からサテライトオフィス誘致の担当職員を1名配置した。今後、県・美波町及び進出企業からなる「四国の右下・ICTふ

るさと村」村民会議の提言をもとに、首都圏への誘致活動等、新たな取り組みを積極的に行っていきたい。



事務所の開所式

### ● 磯野総務企画課長

社員の住居は、美波町定住促進対策条例に基づき、補助金を用いて空家改修を行い、居住場所の確保に努めている。家族の場合は、町営住宅等への入居も可能となっている。

また、空き家の提供をお願いする文書を、今年度から固定資産税納付書と共に送り、情報収集に努めている。

今後、進出企業の増加に伴い、食事の提供や飲食店の利用についての要望にも応じる努力をしたい。

次に、回線速度については、現在のインターネット環境は100メガバイトと比べてありますが、10倍の1ギガバイトに出来ないか検討を行っている。基本的には、海部郡3町で行っている情報化事業であるので、3町の合意と、サービスを提供しているSTNETの協力が必要になる。各種機器の取り替えが必要か業者に問い合わせている。

## ①集落の高台移転、仮設住宅用地の確保は

弁とくしま0作戦緊急対策事業を利用して進める



議員 川尻 竹藏

### 質問

わが町は、伊座利から山河内にかけて海岸線に集落が形成されており、地震・津波に対する事前復興計画の作成が必要である。

第二次避難場所の確保、また集落の高台移転、仮設住宅の確保についての考えは。

## ②高規格道路及び県道改良工事の進捗状況は

弁桑野道路・福井道路は調査設計及び用地買収、海部道路はアンケート調査終了、県道改良工事は地元調整に努めている

### ●橋本消防防災課長

昨年10月の被害想定を踏まえて、一次避難については、防災会・町内会・地域住民の理解・協力を得ながら進めている。一方二次避難期（避難所生活期）、仮設住宅期、住宅再建期対策は、十分な状況でない。とくしま0作戦緊急対策事業、その中の事前復興計画策定委託料を利用し、各地区で必要な対策を進める。

### 質問

地域高規格道路、福井桑野海部道路の進捗状況、また県道日和佐小野線の由岐田井地区全線の改良工事見通しについて伺いたい。

### ●鶴木建設課長

桑野道路は、平成23年度に事業化、26年度は3億3000万円の予算で調査設計及び用地買収手続を推進予定、事業規模は延長6.5kmで全体事業費340億円。

福井道路は、平成24年度に事業化、26年度は3億7000万円の予算で調査設計及び用地買収手続に着手予定、事業規模は延長9.6kmで全体事業費360億円。

海部道路（仮称）は、平成25年第三者から意見を聞くための道路分科会が開催され、26年地域住民のアンケート・ヒアリングが実施



県道改良工事予定地（田井ノ浜付近）

された。

県道日和佐・小野線は、田井地区の早期整備に向け

県と協議しながら地元調整に努める。

### 1 過疎化対策に真剣な取り組みを

井 空き家情報の提供の充実、受け入れ体制の強化、町独自の施策に取り組みたい



議員 寺下 博子

うに展開していくのか。

#### ●磯野総務企画課長

①「田舎暮らしセミナー」については、職員研修の一環でもあり、町長自らがトップセールスを行うことを目玉に、美波町の紹介や個別相談会を行い、一回目60人、二回目20人の参加があった。今後の課題については、空き家情報の提供の充実、受け入れ体制の強化、町独自の取り組み・工夫が必要である。

#### 質問

- ①「田舎暮らしセミナー＆相談会」を東京で開催しているが、開催内容や参加者の状況、今後の課題等について伺いたい。
- ②子育て世代が安心して暮らせる施策は検討されているか。すくすく美波つこ事業費は、どのような事業に使われるのか。
- ③先月、各戸配布された第2次総合計画の概要版をどのように活かすのか。
- ④防災減災対策の進む本町においては、自分の命を守る防災から将来世代を守る防災へと進化する必要がある。今後、どのよ

#### ●花木保健福祉課長

②今年度は、国の新制度に基づき「子ども子育て支援計画」を策定し、美波町に合った計画策定を進める。すくすく美波つ子

事業については、遊びの教室や教育相談、言語相談、スクールカウンセリングなどを行い、健診や相談を通して、保護者や子どもだけでなく、子どもと関わる関係者も含め一緒に考えていきたい。

#### ●影治町長

③町政報告会を開催し、そのなかで総合計画を説明する機会を設けたい。

### 2 地域医療の充実強化を

答 井 今後も医師の確保に向けて取り組みたい

#### 質問

①新しい町立病院の進捗と今後の課題について伺いたい。

②診療所、医療保健センターの進捗と今後の課題について伺いたい。

③高齢化の進む本町での医療ニーズをどのように把握し、対応して行くのか。

#### ●橋本消防防災課長

④今後は、各地区において発災時から一次避難、二次避難、仮設住宅、住宅再建などの時間経過における問題点や対策などを洗い出し、地区別の地域防災計画並びに事前復興計画を早期に作成し、施策が実施できるよう進めたい。

#### ●磯野総務企画課長

①病院建設については、「株式会社姫野組」と請負契約を締結し、平成27年8月19日完成に向け取り組む。工事の他には、医療機器・家具等備品類の整備・運営管理に必要な契約・電子カルテの選定、それに伴う研修などについて、両病院の職員も含めた運営会議的な協議の

場も適宜開催していく。外部委員の参加は、今のところ考えていない。今後も医師の確保に努力していく。

②医療保健センターについては、基本設計の診療所部門について協議を重ねているが、現段階で3ヶ月の遅れが生じている。また、津波避難ビルの側面もあるため、早期の整備を図るためにも、建設に係る業務については迅速に遂行したい。

③国の制度や方針なども踏まえ、普段の健康相談や検診、診察などあらゆる場を活用して、関係部署との連携強化を図り、町民が安心して医療が受けられる環境づくりを進めたい。

### 3 教育環境は

どう変わるのか

答 井 新制度になっても、学校現場への大きな影響はないと考えている

の質問・答弁がありました。

**①ふるさと納税の現状及び寄付額を増やすための施策は**

**弁 答** 昨年度の実績は9件で113万円、寄付者への特典等を充実させたい



議員 向山 篤宏

●磯野総務企画課長

**質 問** ふるさと納税の実績はどうか、また寄付の募集方法や広報の方法と支援者・寄付者を増やすためにどのような施策を行っているのかお伺いしたい。

平成25年度の実績は9件で113万円、これまでの実績は6年間で42件、約378万円である。募集方法、広報は町のホームページで制度の説明や手続きを掲載している。現在寄付者には年末に町の特産品の詰め合わせを送付しているが、今後は寄付者等への特典を充実させたり、情報の発信のあり方などを検討したい。

**②児童・生徒の安全確保は万全か**

**弁 答** 対応は出来ており、指導も行っている

**質 問**

通学路等、登下校道路の安全点検は出来ているか、

また危険箇所があれば、逐次早急に対応はできているか。

●武田学校教育課長

保護者や教員が登下校道路や危険箇所の把握を行っており、交通安全面などでの指導も行って児童生徒の安全の確保に努めている。

**質 問**

AEDは常時使用できる態勢になっているか。

●武田学校教育課長

新しいAEDをリースにより設置して、年に1回は講習会をおこなっており常時使用できる態勢になっている。

**③各学校のいじめ防止基本方針は有効なものになっているか。また普通教室への空調設備の設置は**

**弁 答** 学校の実情に応じて作成しており有効なものになっている。また空調設備の設置は考えていない

**質 問**

各学校で策定しているいじめ防止基本方針は有効なものになっているのか、また適切に履行されているか。

**質 問**

熱中症、空気（大気）汚染時の対応は出来ているか。

●武田学校教育課長

熱中症については、児童・生徒の体調管理に努めるとともに、水分補給を心がけている。

**質 問**

学習効果を上げるために、各教室に空調は整備することは検討していないのか。

●武田学校教育課長

学校生活を通じて、季節毎の過ごし方や、その工夫を学び、暑さ、寒さに耐える強く元気な体を作ることが大切だと考えており、普通教室への空調設備の設置は考えていない。



AED (自動体外式除細動器)



①「美波町人材育成基本方針」中、「職員育成方針」の具体的実践事項について実践状況を説明されたい

弁 指摘の件は、改善できるところは早急に取組みたい



議員 北山 朝彦

以上各項目の実践状況と実践されていないものがあるがその理由を述べられたい。

● 山路副町長

質問 「美波町人材育成基本方針」中、「職員育成の方針」に掲げる次の項目

- 一、職員を育てる職場環境
- ① 診断表による診断
- ② 研究成果発表の場提供
- ③ 職員提案制度実施
- 二、職員を育てる人事管理
- ① 経歴管理システム確立
- ② 庁内公募制導入
- ③ 挑戦加点制度導入
- 三、職員を育てる仕事の進め方
- ① 目標による管理
- ② 評価・改善小集団活動
- ③ つぶやき手帳の活動

人を育てる職場環境は、職員研修奨励制度を平成22年4月から設けている。職場診断表は出来ていない。

研究成果発表の場は、本年4月から高台移転計画のためのワーキンググループを作っている。平成22年4月から政策提案制度を作っている。経歴管理システムとして確立したものはないが、個人ごとの経歴一覧表はある。庁内公募制は、県との交流人事で希望者を募ったことがあり特定のポストの公募制は続けた。挑戦加点制度は、目標による管理と共に勤務評定導入時点と併せて検討できればと思う。

行政サービス評価改善小集団の活用は具体的なものはないので今後考えたい。住民対話は平成19年8月出前講座として制度化している。

質問

ほとんどが「出来ていないが今後検討する」と言う答弁では、どのように検討するのかわからない。検討するのかわからない。検討するのかわからない。

● 山路副町長

「人材育成基本方針」は、平成18年合併当時旧日和佐と旧由岐の分を新しく美波町とした。職員診断表は早急に考える。自主研修の発表の場も設けたい。経歴管理システムはプログラム化されたものは無いが、長期間同一勤務場所の弊害は認識している。庁内公募制度は、国・県・その他との人事交流が必要な場合、今後継続したい。目標による管理は、通常の自治研修セン

ター・市町村アカデミーなどで研修させている。つぶやき手帳は、昨年9月議会副町長が「ほう・れん・そう（報告・相談・連絡）」を徹底させることで「つぶやき手帳」に代えるという答弁をしている。人材育成推進体制は、組織だった物が出来るかどうか考えたい。

質問

人材育成の推進には、管理監督者や体制を整えるのが普通である。合併後8年たった現在管理監督者がいないのでは、本当にやる気があるのか町の姿勢を疑わざるを得ない。職員を育てる仕事の進め方は、副町長の言う庁内外の研修でなくて、日常の業務・仕事のやり方によって能力を高めていくべきである。町長は「名称については考えるが、手帳の配布については必要不可欠なので、すぐにでもやりたい」との答弁だったので、副町長の答弁は間違っている。

● 山路副町長  
議員の指摘は、早急に改善できることは改善に取組む。つぶやき手帳は具体的にどのような書くものを渡すのがいいのか、また考えたい。

質問

つぶやき手帳について町長は「必要不可欠と思う、この機会に導入したい」と答弁しているので実行されたい。過去に「職員が変われば町が変わる」と書いて机に張っていた職員を見た。この人材育成基本方針が70%でも達成できれば、大きく役場は変わり町民から信頼されると思う。町民に信頼されるよう「美波町人材育成基本方針」を強力に推進されるよう要望する。



## ①町政及び議会テレビ中継化による 情報公開と町活性化

弁 議会とも相談、コストも精査し、検討して  
答 進める



議員 戎野 博

現在、議会のインターネット配信だけをしているが、テレビ中継が延ばされている理由は？

地デジのテレビ選択で行政情報を見られるように担当職員の配置を含めて、やっていく考えはあるのか。議会・行政情報だけでなく回線を双方向的に使いながら、事業者、団体、住民からの情報発信で町活性化に有効利用するべきではないか。

●磯野総務企画課長  
議会中継だけでなくインターネット配信をしているホームページ情報について

もテレビで配信することは可能かと思っている。ただし、専用チャンネルの取得が前提となる。議会中継費用が掛かってくることになる。担当職員の配置は経費も掛かることになる。今後、議会とも、相談しながら、効果的な情報発信を検討できればと思う。

### ●影治町長

議会中継を含めたケーブルテレビでの情報の発信をすることはやぶさかではないが進んでこなかった一番の理由は議会のコンセンサスが十分得られていないというところと、県内の状況と住民のニーズに対応する行政情報の手段と費用の問題である。優先順位をどのようにつけていくか、非常に難しいが議会特別委員会も設置されたので町も合わせて、共に行政情報・議会

情報をケーブルテレビで流す方法をランニングコスト

も精査し、検討して進めていく。

## ②病院・日和佐診療所建設への 取り組みと医療サービスの充実

弁 利用しやすい病院サービスに努める  
答

### 質問

①美波病院の本体建築費が6月の議会での追加で3億8,820万円、当初の契約から2割も上がってきているが建設概算費用、土地購入・造成費は最終的にどの程度に、なるのか。2病院統合後の医業収益予想はどのように見込むのか。

②避難ビルとしての診療所、保健センターを利用する計画があるならば、幼保一元化した昼間だけの施設を日高跡地に配置し、連絡通路で避難対応ができるようにして、診療所計画と並行して立地に取

り組むべきではないか。

③同時期開院が遅れそう

診療所の医療体制の充実、訪問看護など医療保健センターの機能はどのように図るのか。利用者のサービス向上のための電話予約制、公設民営の透析施設についての取り組みは。

### ●磯野総務企画課長

①病院建設の継続費合計は25億4,846万円というところで、用地費は一般会計で購入し1億2,860万円(5%)になる。建築外溝で18億6,120万円が今、見込まれている。

開院一年目の平成28年度の病院収益予測は4千695万円の損失という

かたちになっている。

③医療保健センターの一階

はピロティ方式で二階に診療所、保健センター、社会福祉協議会を配置し、三階に阿南市の玉真病院の透析施設として運営する。在宅医療を整備する方向で訪問診療、訪問看護等、住民に貢献できる体制づくりに努める。

電子カルテ導入予定であることから初診・再診を含め、事前受付の方法など医療スタッフの意見を聞いて検討していく。

### ●影治町長

②診療所等の基本設計が遅れているが同時期に開院出来るように進めている。日和佐高校跡地は浸水区域になることから保護者からの要望で、高台希望で動いているので、日高跡地に幼保施設を建設する予定はない。

## ③津波対策と避難場所、 避難路の整備・確保

弁 避難タワー建設・高台造成構想を検討していく  
答

の質問・答弁がありました。



# ケアンズ市との 姉妹都市締結協定書調印

美波町議会副議長 向山 篤宏

美波町とオーストラリアのケアンズ市とは、45年の長きに亘って友好関係を築いてきました。ケアンズ市は美波町のほか6つの都市と姉妹都市締結協定を結んで友好促進を図っていますが、この度ケアンズ市の姉妹都市記念式典に美波町が招待され、7月5日の記念式典に合わせて、美波町から町長をはじめ6人が訪問しました。今回の主たる目的は、



ボブ・マニング市長（左）・影治信良町長（右）

町村合併により、町名が変わったことにより平成19年10月1日に締結した姉妹都市協定が期限付きであったため今回改めて期限を設けない姉妹都市締結協定を結ぶことになりました。調印式には原住民の方もご参加下さり、和やかな、また厳かな調印式になり、記念式典には、パプアニューギニアからの参加があり民族ダンスも披露され尚一層の友好を図ることができました。また、ケアンズ市との国際交流・姉妹都市交流に側面か

ら何かとご助言、ご支援をいただいている日本領事館ケアンズ出張駐在官事務所長の池田博次領事への表敬訪問も合わせて行いました。

語学の乏しい私は市民との会話も難しく不便を感じましたが、美波町の学生が今後ケアンズ市との交流を通じて語学を身につけ国際社会で活躍されるように願って帰国しました。



向山篤宏副議長（左）  
影治信良町長（中）  
池田博次領事（右）

# 美波町初! 女性パワーで農政に新風を!

美波町議会では、農業で活躍する女性として、議会が推薦した選任委員佐竹つるゑさん・湯浅純子さんの2人を紹介します。

佐竹 つるゑさん

(62歳・赤松)

(夫・長男の3人暮らし)

現在、トマト・ナス・ピーマン・キュウリ・パプリカ・シシトウ・マクワウリ・ネギ等の苗や野菜を道の駅に出荷しています。

量販店等で安い苗が出回っているので売れ行きが下がっているのが悩みです。将来、農家が減り輸入品に頼ると、品質等が分からないので不安です。

湯浅 純子さん

(52歳・北河内)

(夫・長女の3人暮らし)

徳島ブランド「阿波尾鶏」の委託農家で、1回に3万1000羽を80日あまり飼育し、年間3回で9万3000羽余りを出荷しています。

阿波尾鶏は飼育環境に敏感で、夏場は扇風機の管理や水まき等温度対策に悪戦苦闘しています。

後継者問題では、子どもが継がないので新規就農の青年を受け入れ、将来は、経営を継承してもらい、農業で夢を語る青年を育てたい。

## 議会広報についてのご意見を下さい!

私たち議会広報委員は、「手に取り・見て・読んでもらえる議会広報」「住民から必要とされる議会広報」になるよう編集委員会で常に話し合っています。そこで、今回多くの住民から意見を聞かせていただくということで、私たちが出張し意見交換会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

皆さん、  
意見交換会に  
参加して下さい!

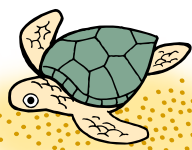
- ①各種団体で8人以上。住民グループで8人以上。
- ②日時・開催場所については相談して決定します。

## 住民の皆さんのご応募をお願いします!

- ①掲載写真(表紙等の写真)・撮影場所
  - ②「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
  - ③住所・氏名は掲載します。
- ※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。

お問い合わせ・投稿される方は、議会事務局 ☎ 77 - 3630  
E-mail : gikai@town.minami.lg.jp までご連絡下さい。





# 頑張る人!!

地域の魅力を掘り起こせ



田村 玉子さん (田井のパワフル農園)

55年間の教職を終え、未知への研鑽で、生活の質「QOL」の向上をめざし、「JA 海部」の特選菜園栽培に入会しました。

出会った方々と高め・深め・広めて、生き生きと活力ある暮らしをしています。各地に休耕田が目立ちます。活用して、生産活動に従事してみませんか！

## 編集後記

『締切日は最初の設定日より、一週間後である。』という「マーフィーの法則」がある。締切日に遅れて届く要約を、何日もかけて議員の「一般質問」を読みやすく仕上げていく。

この編集作業が大変なため議員が入りたがらないのが「議会広報特別委員会」で、まだ定数にも満たない4人である。

しかし、議会、議員の姿を町民に伝える大切な役割で「議会だより」づくりの会議は重ねられる。『会議とは議事録を得て、時間を失うものである』と言われないよう、今日も4人は暑さに議論もヒートアップしていく。(編集委員：戎野 博)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：北山 朝彦

副委員長：永本善次郎

委員：戎野 博・中川 尚毅